

令和6年能登半島地震に関する会長声明

2024年1月1日、石川県能登半島を震源とするマグニチュード7.6の地震が発生しました。石川県をはじめ、富山県、新潟県などにおいて甚大な被害が発生しています。犠牲となられた方々に哀悼の意を表しますとともに、今なお地震が続く中、被災されたみなさま、大きな不安を抱えているみなさまに心よりお見舞い申し上げます。

特に、地震の影響で火災や津波が発生した奥能登地域の被害は甚大で、道路が寸断され孤立している集落など、いまだ状況が十分に把握しきれないエリアがあると報道されています。また、介護施設・事業者も大きな被害を受け、業務継続や利用者の安否確認についても困難な状況が続いているといわれています。さらに、極寒の季節に避難所生活が長引くことでの健康被害も心配されます。

緊急対応から、生活復旧、復興へと長期的な対応が必要になる中で、文字通り総合的かつ包括的な支援が求められます。学会としましては、現下の窮状に対して可能な支援策を検討していくことはもとより、被災地の状況やニーズを把握しつつ、長期的な視点からも学会の役割を考えていきたいと決意しています。

地域福祉について研究と実践を進めてきた学会として、理事、地方委員の皆様、学会員の皆様、学会とつながりのある皆様とともに、また被災地で救援・支援に関わる皆様とともに、私たちにできることを考えていきたいと思えます。

2024年1月6日
日本地域福祉学会
会長 永田 祐